

太宰府市短歌ポス下第百十六期入選歌

(令和四年十一月二十五日)

選者 大久保富士子

太宰府の御神牛の額へと世界中から集うてのひらら

名古屋市 吉田裕幸

太宰府へひとへ訪ねて神前にこころ垂れば秋風ふきぬ

政牟市 高田良美

十五歳絵馬に描いた幸せに思いを馳せる二十歳の秋空

大宰府吹田市 岸本彩葉

太宰府に母と来たうし秋の日をいつか懐かしく思い返さん

堺市 櫻井麻子

道真にすぎる小さき背に届けまますぐ育つてくぬりやい

東京都 川島康輔

太宰府に道真公を訪ねれば参道門前東風吹かば歌碑

福岡市 前原善之

歌碑の端に小さきおみねが咲いてをり観世音寺の長塚節

大野城市 染川ゆり

賑わいの参道抜けて静かきの本殿で鳴る鈴の青色

東京都 小瀬沢美希

台風の渦に引かれ来てたでない太宰の魅かに惹かれたのである

京都市 松尾一輝

心字池未来へ渡る三番目あなたと集りたい 愛の橋

大宰府松原市 白藤佑佳

小中学生的の部

だざんふのあのマスター楽しいよめっちゃやめっちゃ楽しかったよ

福岡県田川郡 矢利 蘭